

報道提供資料

令和2年11月10日

貝塚市

都市政策部 広報交流課
広報広聴担当：岸本・中川
TEL:072-433-7231
FAX:072-433-7233

紀泉連絡会（紀泉地域の広域観光に関する広域連携推進会議） を開催しました。

11月7日（土）に、南泉州地域の4市3町（貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）、紀北地域の3市（和歌山市、紀の川市、岩出市）の10市町の各首長等による、紀泉地域の広域観光に関する広域連携推進会議を開催しました。

来賓には、本地域選出の与党国会議員である二階俊博自民党幹事長、鶴保庸介議員、門博文議員、谷川とむ総務大臣政務官を迎え、紀泉地域の広域観光の推進にあたり応援の言葉をいただきました。

会議では、各市町の魅力ある観光資源を生かした広域観光を推進していくため、本会議を「紀泉連絡会」とし、連携を進めることが決定しました。

今後、具体的な連携の方法や事業については、各市町において協議していきます。

別 添：会議趣旨

会議写真

問合せ先 都市政策部政策推進課

TEL 072-433-7241

担当：常國

紀泉地域広域観光に関する広域連携推進会議

趣 旨 説 明

大阪府貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町及び和歌山県和歌山市、紀の川市、岩出市の地域（以下「本地域」）では、近年、多くの市町で人口減少に転じるとともに、減少率が加速しており、地域の衰退が懸念されている。一方で、今年に入ってコロナウイルス感染症拡大による影響が及ぶまでは、本地域にある関西国際空港は、インバウンドをはじめとする多くの来訪者に利用されていた。しかし、その大半は京都や大阪市内へ向かい、関西国際空港以南の本地域には観光客の来訪が少ない状況であり、本地域への来訪者を増加させることが課題となっている。現時点では、コロナウイルス感染症拡大の影響によりインバウンドなどの観光需要は低迷しているが、アフターコロナ時代を見据え、多くの観光客を誘客することができるよう準備を進める必要がある。また、ウイズコロナ時代におけるマイクロツーリズムなどの新しい生活様式での交流人口拡大による地域活性化を図っていく必要がある。

本地域は、大阪府と和歌山県との県境をまたぐ地域であるが、もともとは歴史的・文化的・市民生活的にも深いつながりを持つ地域であることから、関係性の深い歴史的資源が多く存在する。また、海や山などの自然資源も多く、海産物や農産物などの特産品も豊富である。さらに、近年は商業施設やレジャー施設などの集客施設ができています。

以上のことから、本地域の市町が広域連携し、各市町の魅力的な地域資源を共通の資源として、シェアサイクル、レンタカー、公共交通ネットワーク等を活用した観光周遊ルートを造成するなど、今まで以上に効果的・効率的に観光振興施策を打ち出すことができるよう、紀泉地域広域観光に関する広域連携を推進していくものである。

令和2年11月7日

紀泉地域の広域観光に関する広域連携推進会議の様子【11月7日（土）】

